

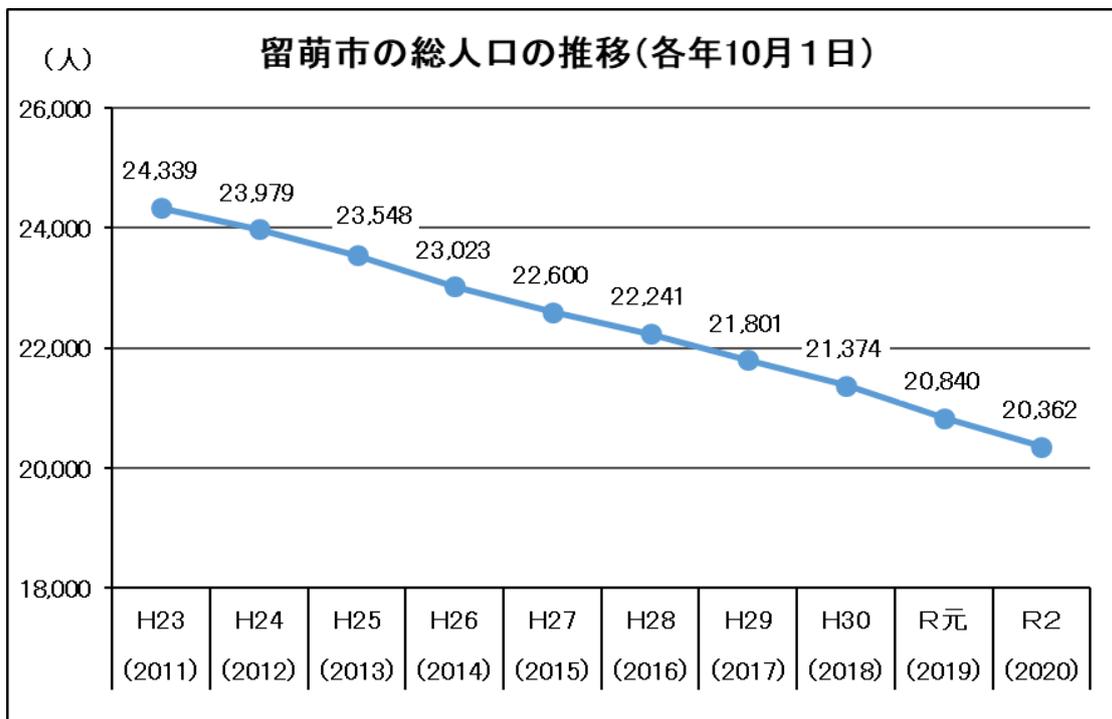
第2章 留萌市の統計と概況

1. 人口動向

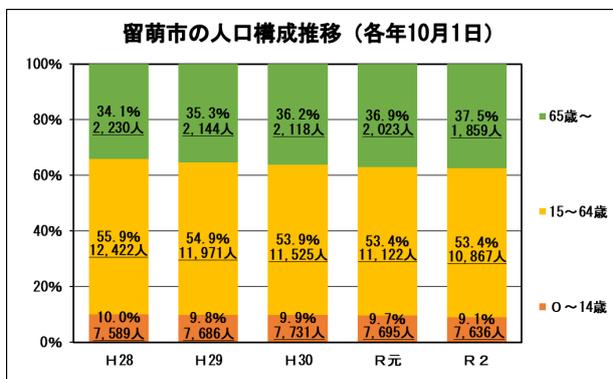
留萌市の人口は、年平均 400 人ほど減少しています。

合計特殊出生率*は、全国、全道を上回っているものの、65 歳以上の人口の割合は全国、全道に比べて高く、増加傾向にあります。

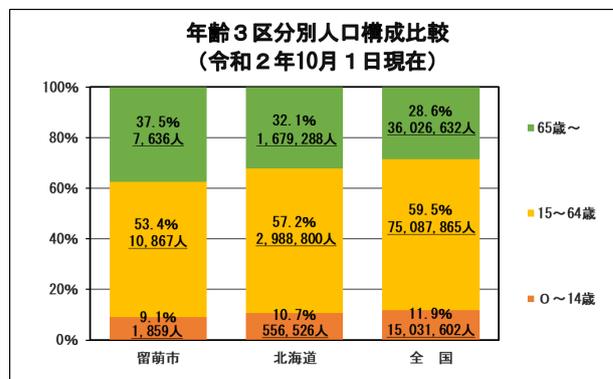
*合計特殊出生率：15 歳～49 歳までの女性の年齢別出生率を合計した指標。1 人の女性が平均して一生の間に何人の子どもを産むかを表す。



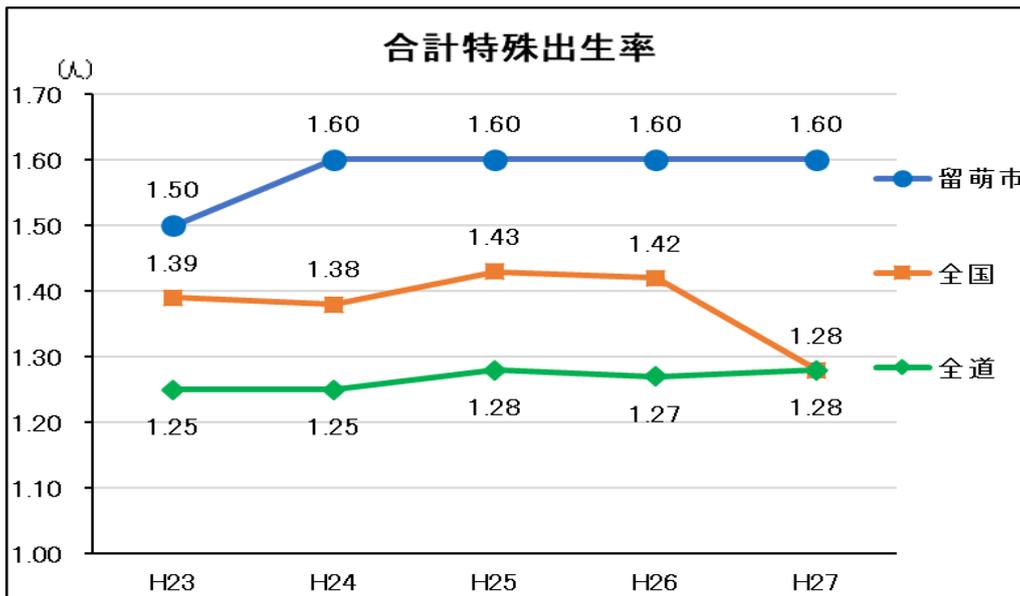
資料：留萌市住民基本台帳



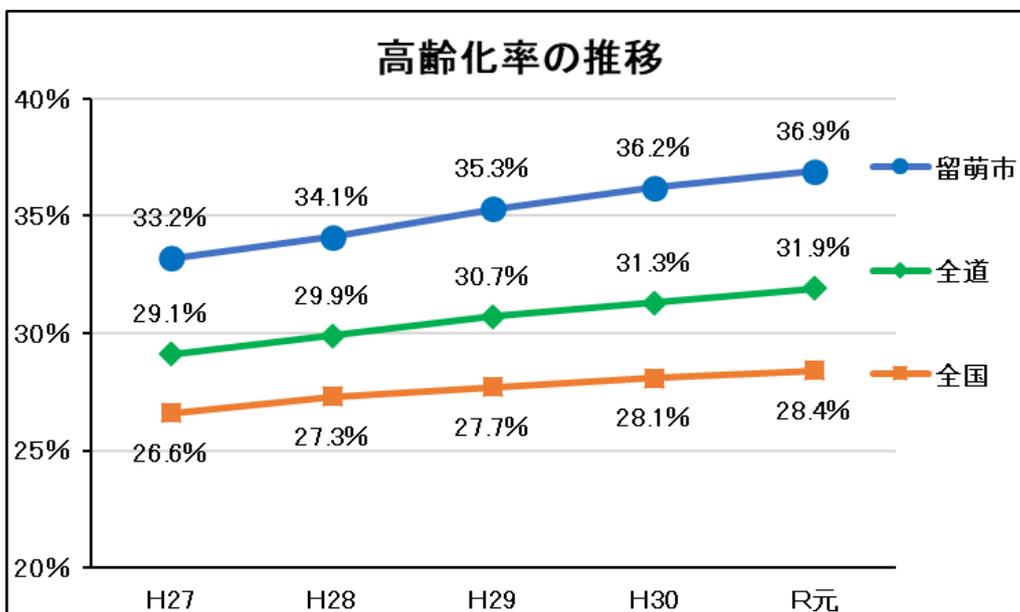
資料：留萌市住民基本台帳



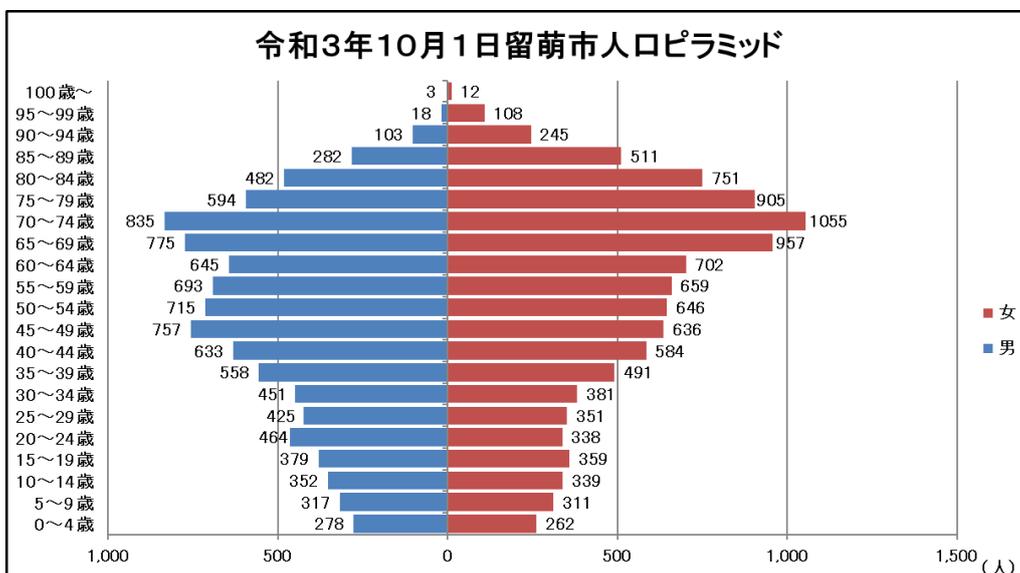
資料：総務省統計局人口推計結果及び留萌市住民基本台帳



資料：道北地域保健情報年報



資料：総務省統計局人口推進結果及び留萌市住民基本台帳



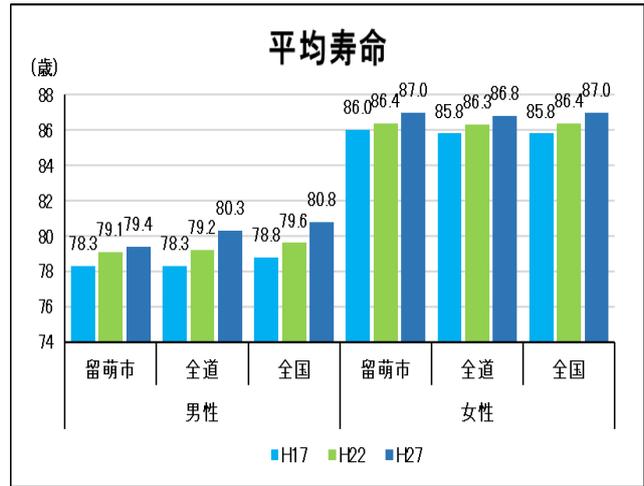
資料：留萌市住民基本台帳

2. 寿命と死因の状況

平均寿命は、全国、全道と比べて女性は同程度ありますが、男性はやや低い状況です。

死因では、第2位まで全国・全道と同様です。肺炎の占める割合は、第3位で高い傾向となっています。

SMR（標準化死亡比）*1でみると、男性は腎不全が127.1ポイント、女性は慢性閉塞性肺疾患*2が208.8ポイントとかなり高くなっています。



資料：厚生労働省市区町村別生命表の概況

*1 SMR（標準化死亡比）：死亡率は、通常年齢によって大きな違いがあることから、異なる年齢構成を持つ地域別の死亡率を、そのまま比較することはできない。比較を可能にするためには標準的な年齢構成に合わせて、地域別の年齢階級別の死亡率を算出して比較する必要がある。標準化死亡比は、基準死亡率（人口10万対の死亡数）を対象地域に当てはめた場合に、計算により求められる期待される死亡数と実際に観察された死亡数とを比較するものである。我が国の平均を100としており、標準化死亡比が100以上の場合は我が国の平均より死亡率が高いと判断され、100以下の場合は死亡率が低いと判断される。

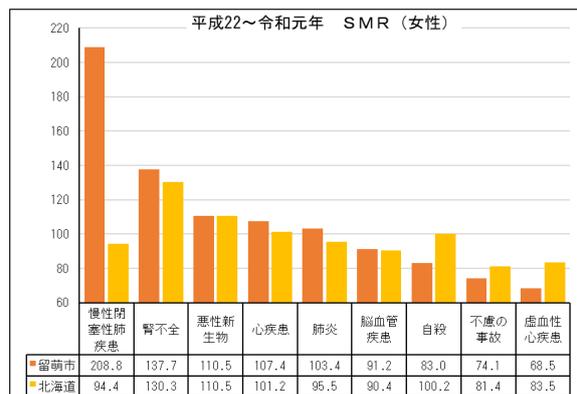
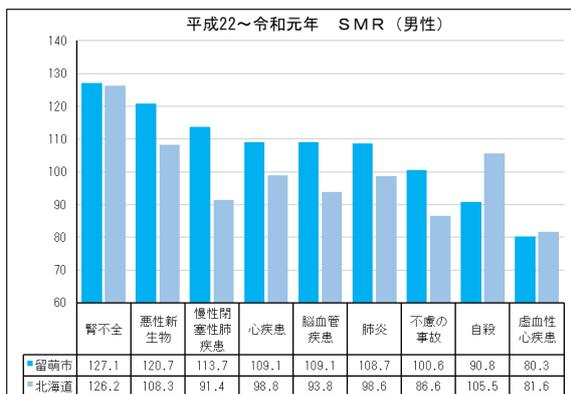
*2 慢性閉塞性肺疾患：従来、慢性気管支炎や肺気腫と呼ばれてきた病気の総称。歩行時や階段昇降など、身体を動かした時に息切れを感じる労作時呼吸困難や慢性的なせきやたんが特徴的な症状。

平成30年 死亡数・死因順位

※第2位の「心疾患」は、高血圧症を除く

	1位	2位	3位	4位	5位
留萌市 (293人)	悪性新生物 31.7% (93人)	心疾患 16.4% (48人)	肺炎 9.9% (29人)	脳血管疾患 5.8% (17人)	不慮の事故 2.7% (8人)
全道	悪性新生物 30.3%	心疾患 15.1%	脳血管疾患 7.5%	肺炎 6.8%	老衰 6.1%
全国	悪性新生物 27.4%	心疾患 15.3%	老衰 8.0%	脳血管疾患 7.9%	肺炎 7.0%

資料：平成30年北海道保健統計年報



3. 国民健康保険レセプト*からみる疾病状況

国民健康保険疾病分類統計によると（調査対象月は、季節的な病気や住民の異動の少ない5月診療分としている）、受診件数の割合が最も高い疾患は「高血圧性疾患」で、次に「歯肉炎及び歯周疾患」の順になっています。

年齢別では、40～44歳・50～59歳では「消化器系疾患（特に歯肉炎・歯周疾患）」、45～49歳では「精神系疾患（特に統合失調症）」、60歳～74歳までは循環器系疾患（特に高血圧症）が最も多くなっています。

*レセプト：病院が健康保険などの報酬を公的機関に請求するために提出する書類。診療報酬請求明細書。診療報酬明細書。

留萌市疾病分類別多発疾患(全年齢)

(令和2年5月診療分)

	1位	2位	3位	4位	5位
H30	高血圧性疾患 (16.7%)	歯肉炎及び 歯周疾患 (5.2%)	関節症 (4.8%)	糖尿病 (4.6%)	脊椎障害 (3.8%)
R元	高血圧性疾患 (16.2%)	歯肉炎及び 歯周疾患 (5.4%)	関節症 (4.5%)	糖尿病 (4.2%)	脊椎障害 (3.4%)
R2	高血圧性疾患 (17.6%)	歯肉炎及び 歯周疾患 (5.1%)	関節症 (4.9%)	糖尿病 (4.2%)	脊椎障害 (3.7%)

資料：国民健康保険疾病分類統計（国保・後期被保険者）

留萌市疾病大分類別の受診件数

(令和2年5月診療分)

※下段は、大分類の中での最多疾患

	1位	2位	3位	4位	5位
40～ 44歳	消化器系 12 歯肉炎・歯周疾患 4	精神系 9 統合失調症 6	呼吸器系 6 皮膚系 6 喘息 4	皮膚炎・湿疹 5	新生物 5 循環器系 5 悪性腫瘍 2 高血圧症 4
45～ 49歳	精神系 24 統合失調症 12	消化器系 17 歯肉炎・歯周疾患 10	循環器系 10 高血圧症 5	呼吸器系 8 喘息 6	筋骨格系 5 腎尿路系 5 椎間板障害 2 腎尿路系の疾患 3
50～ 54歳	消化器系 15 歯肉炎・歯周疾患 6	精神系 12 循環器系 12 統合失調症 6	高血圧症 10	内分泌系 11 糖尿病 6	呼吸器系 9 喘息 6
55～ 59歳	消化器系 18 歯肉炎・歯周疾患 14	精神系 17 統合失調症 9	循環器系 15 高血圧症 13	内分泌系 7 眼系 7 筋骨格系 7 糖尿病 4 その他の眼の疾患 5 関節症 2	
60～ 64歳	循環器系 48 高血圧症 33	消化器系 32 歯肉炎・歯周疾患 17	筋骨格系 30 関節症 11	内分泌系 25 脂質異常症 12	精神系 23 統合失調症 13
65～ 69歳	循環器系 189 高血圧症 133	消化器系 94 歯肉炎・歯周疾患 45	筋骨格系 91 関節症 33	内分泌系 77 糖尿病 37	眼系 49 その他の眼の疾患 24
70～ 74歳	循環器系 364 高血圧症 250	筋骨格系 193 関節症 65	内分泌系 142 脂質異常症 72	消化器系 136 歯肉炎・歯周疾患 84	眼系 93 その他の眼の疾患 52

4. 介護保険の状況

留萌市の高齢化率は増加傾向で、全道よりやや高く推移しています。（P3参照）

第1号被保険者（65歳以上）の要介護認定率は、全道より低い状況で、全道的には増加傾向にあるものの、留萌市は微増の状況です。

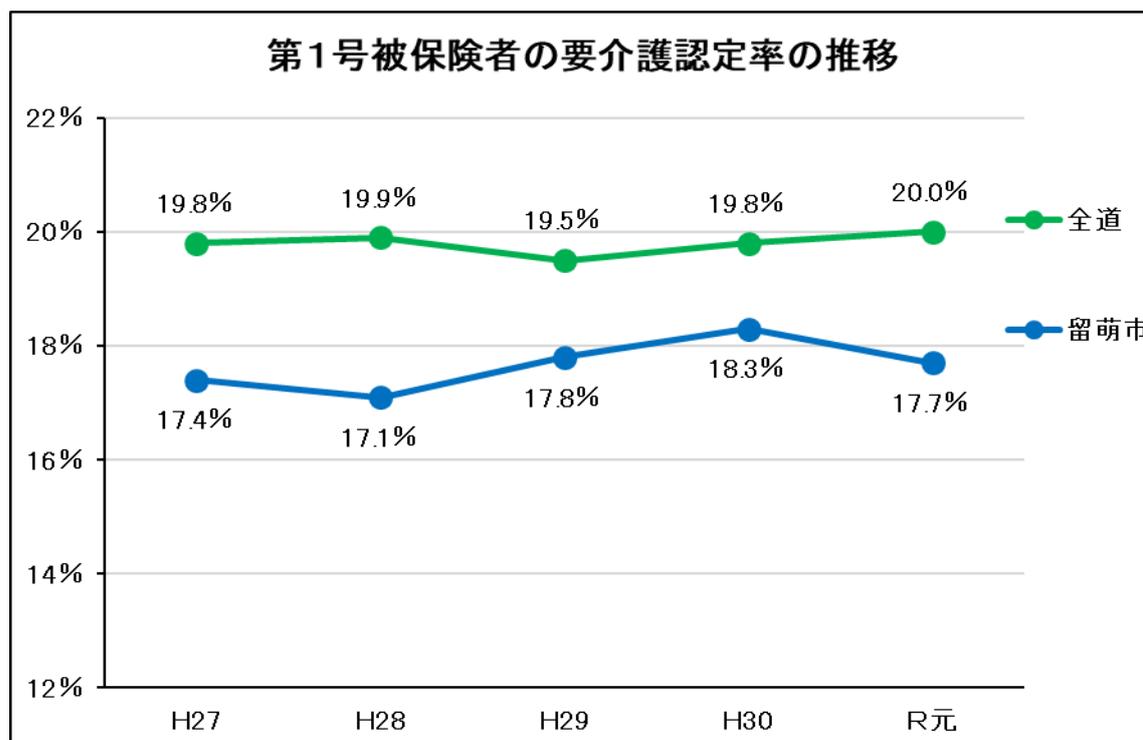
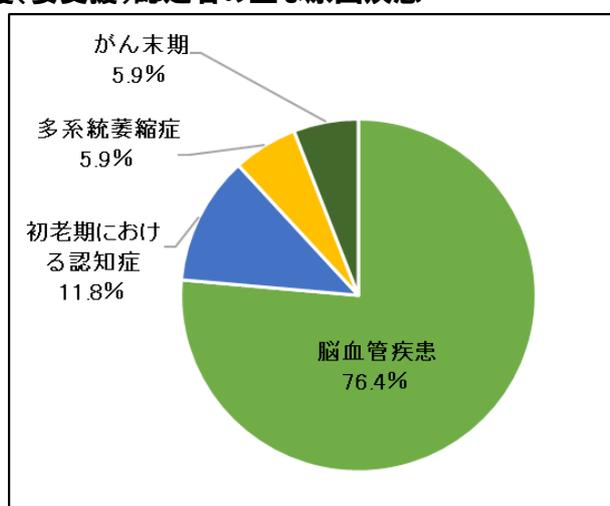
第2号被保険者（40～64歳）で要介護認定となった原因疾患は、脳血管疾患が7割以上を占めています。

要介護度別出現率は、要支援1～要介護2までの軽度者が多い全道に比べ、留萌市では要介護1～3までの認定者が多い状況です。

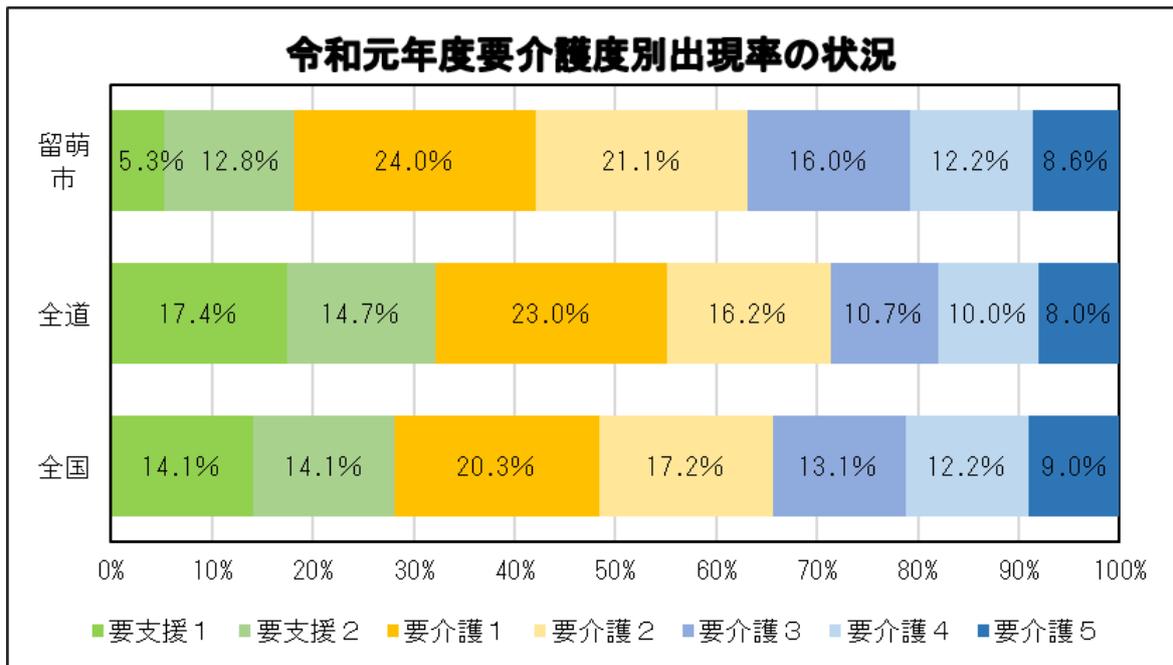
令和元年度 留萌市第2号被保険者要介護（要支援）認定者の主な原因疾患

原因疾患	人数	割合（%）
脳血管疾患	13	76.4
初老期における認知症	2	11.8
多系統萎縮症	1	5.9
がん末期	1	5.9
合計	17	100

資料：留萌市要介護（要支援）認定者の主治医意見書より



資料：厚生労働省介護保険事業状況報告



資料：厚生労働省介護保険事業状況報告

5. がん検診・特定健康診査の状況

留萌市のがん検診の受診率は、すべてのがん検診とも減少傾向にあり、全道、全国と比較しても低い状況です。

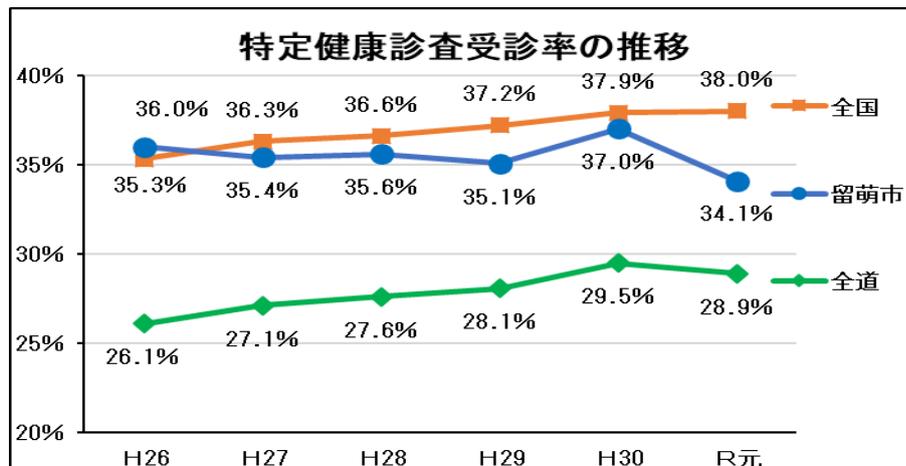
特定健康診査の受診率は、電話勧奨の継続実施や市内医療機関の協力により、平成30年度受診率は過去最高に達しました。全道と比べ高い状況ですが、35%前後で伸び悩んでいます。

特定健康診査結果の有所見者の状況では、BMI*、血糖、収縮期血圧*の正常値を超えている者の割合が全道の平均を上回っています。

留萌市各種がん検診の受診率の推移

	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度		
						全道	全国	
胃がん	7.8%	7.8%	4.7%	5.0%	4.5%	3.8%	6.1%	7.8%
肺がん	8.8%	8.2%	2.9%	3.0%	2.4%	2.1%	4.5%	6.8%
大腸がん	11.8%	12.2%	3.7%	3.5%	3.2%	2.9%	5.4%	7.7%
乳がん	17.5%	16.6%	13.3%	12.9%	12.0%	11.5%	14.7%	17.0%
子宮がん	18.2%	16.0%	11.0%	10.7%	9.2%	8.6%	16.5%	15.7%

資料：厚生労働省 地域保健・健康増進事業報告の概況



資料：市町村国保特定健康診査・特定保健指導実施状況概況報告書

令和元年度 特定健康診査有所見者の状況(%)

	腹 囲	BMI*	中性脂肪	ALT (GPT)*	HDL*	血糖	HbA1c*	収縮期血圧*	拡張期血圧*	LDL*
留萌市	32.2	31.2	18.9	14.2	3.3	26.4	32.3	55.9	16.2	52.6
全 道	33.0	30.1	20.9	15.6	3.7	23.4	48.2	46.7	19.2	54.5

資料：厚生労働省様式5-2

- * BMI：成人の体格指数として国際的標準指標になっており、主に肥満の判定に用いられる。
- * ALT(GPT)：肝臓に特化して存在する酵素。主に肝機能が鈍ると、値が上昇する特徴がある。
- * HDL：血管壁にたまったコレステロールを抜き取って肝臓に運ぶ『善玉コレステロール』。
- * HbA1c：血液中のヘモグロビンとブドウ糖が結合したもので、過去1～2カ月の血糖状態を把握。
- * 収縮期血圧：心臓が収縮したときの血圧で、血圧が最も高くなるため、最高血圧とも呼ばれる。
- * 拡張期血圧：心臓が拡張したときの血圧で、血圧が最も低くなるため、最低血圧とも呼ばれる。
- * LDL：肝臓のコレステロールを体の隅々に運ぶ『悪玉コレステロール』。

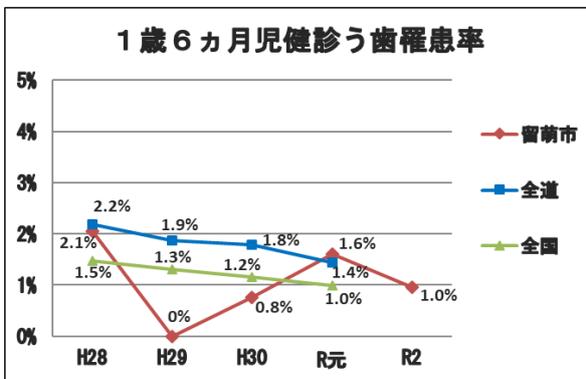
6. 次世代の健康

1歳6カ月児のう歯罹患率は、全道、全国と同程度～低い傾向にあります。3歳児においても減少傾向にあります。全道、全国よりも高い状況です。

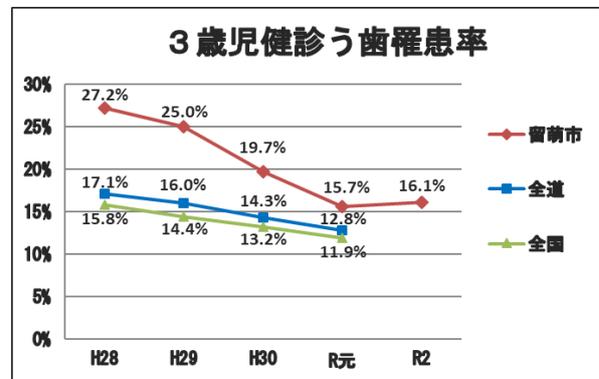
1歳6カ月児の野菜の摂取回数は、1日2回摂取が増加しており、0～1回、3回摂取が減少しています。一方で、3歳児の3回摂取が増加しています。野菜を摂取している時間帯をみると、朝食での摂取率が低い状況は依然として変わりませんが、3歳児でわずかに朝食での摂取率が増加しています。1歳6カ月児においては、昼食での摂取率が増加しています。また、甘味飲料の摂取量は増加傾向にあります。

妊婦、育児中（4カ月児健診時）の喫煙率は増加傾向でしたが、令和元年度から令和2年度にかけて急増しています。

母子健康手帳交付時の年代別入籍・未入籍の割合を見ると、10歳代は、妊娠届出時点で入籍よりも未入籍の割合が高い状況です。

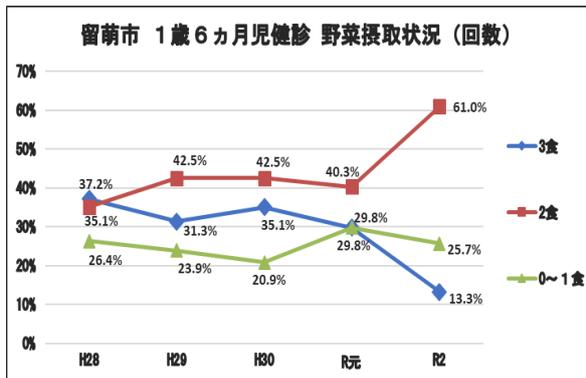


資料：地域保健・健康増進事業報告

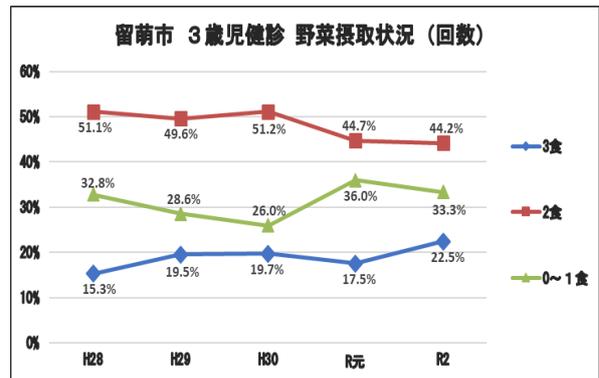


資料：地域保健・健康増進事業報告

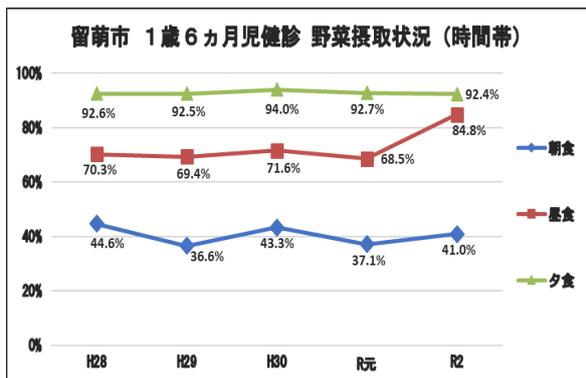
※R2年度は全国、全道の報告が発表されていないため、R元年度までの結果となっています。



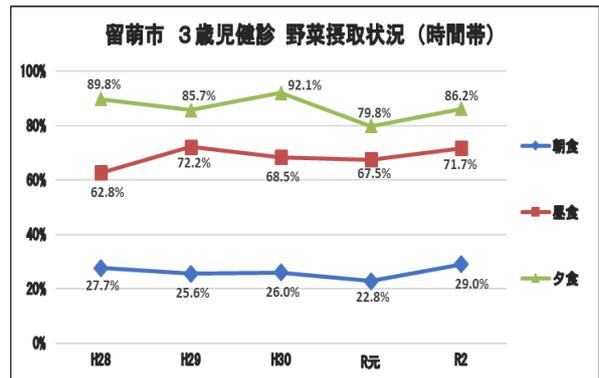
資料：留萌市1歳6カ月児健診質問票



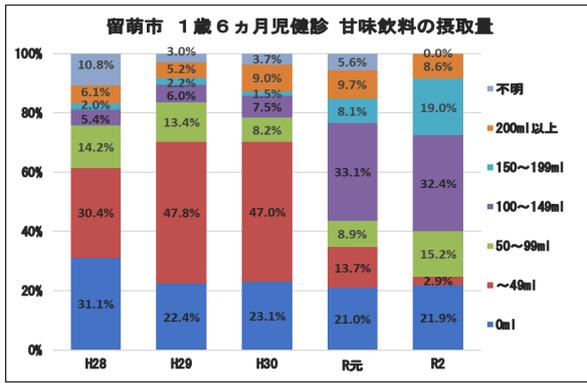
資料：留萌市3歳児健診質問票



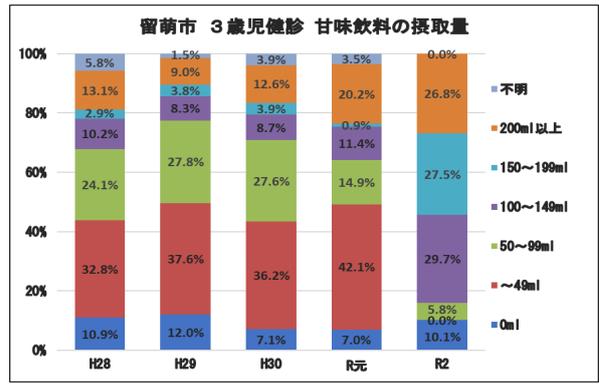
資料：留萌市1歳6カ月児健診質問票



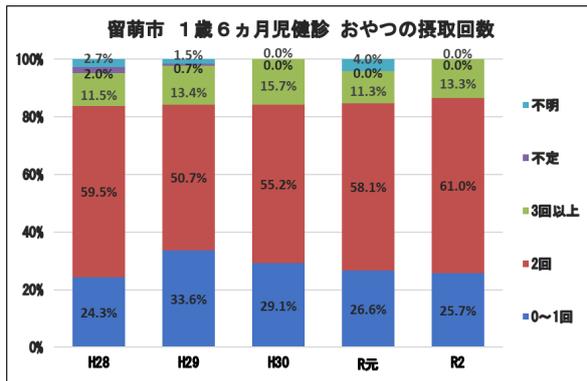
資料：留萌市3歳児健診質問票



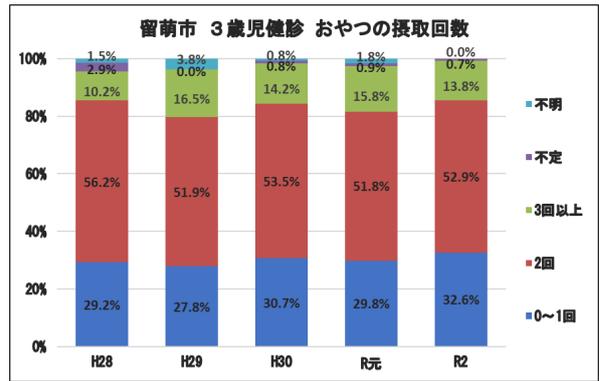
資料：留萌市1歳6ヵ月児健診質問票



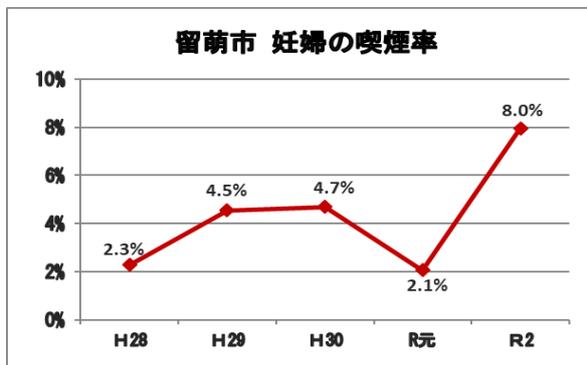
資料：留萌市3歳児健診質問票



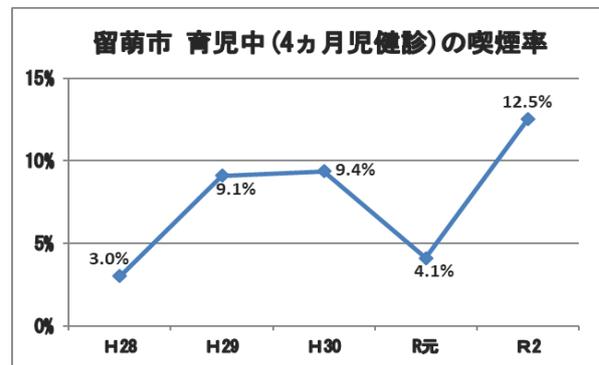
資料：留萌市1歳6ヵ月児健診質問票



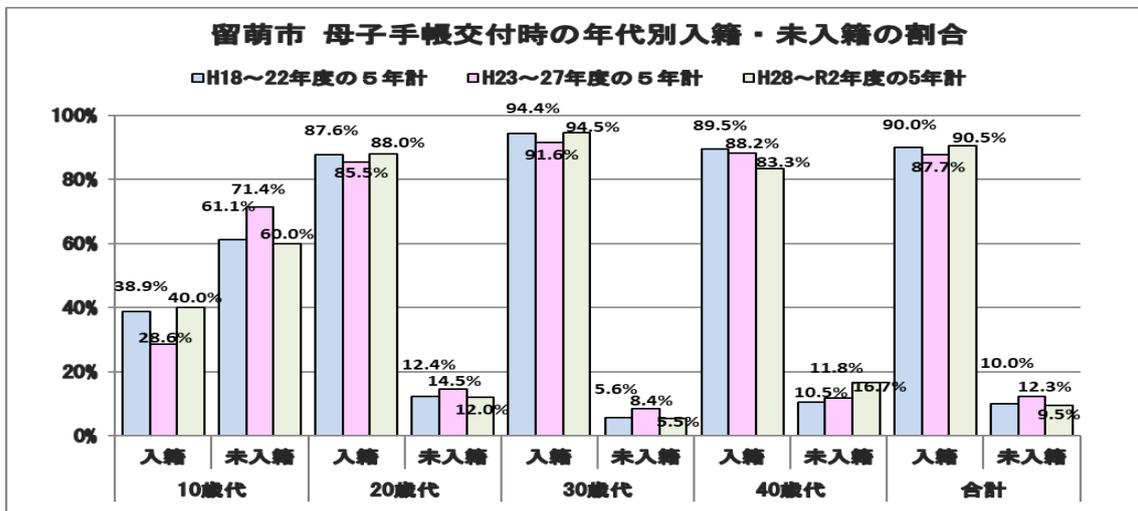
資料：留萌市3歳児健診質問票



資料：留萌市4ヵ月児健診質問票



資料：留萌市4ヵ月児健診質問票



資料：留萌市母子健康手帳交付時の状況